

留学体験記

カナダ・トロント大学で過ごした 6 か月

JSAF FLAP 留学レポートより

「日本に帰りたと思う時はありましたが、最後には逆に、トロントでできた友達と離れることが寂しいと感じました。」

留学先	トロント大学(University of Toronto／カナダ・トロント)語学プログラム
在籍大学	学習院大学 国際社会科学部 国際社会学科 2 年
留学期間	2024 年 9 月～(6 か月)

※本体験記は派遣生の FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです(保存用・氏名入り。公開時には氏名を削除してください)。

1. 留学の目的

今回の留学の目的は、英語能力を上げること、そして海外でしか味わえない経験をすることでした。この目的は、留学を通して達成することができました。

2. 語学学校と授業

■ 学校とクラスの概要

項目	内容
学校の学生数	約 100 名
学校の日本人数	約 80 名・80%(9～12 月、2～3 月)／約 5 名・5%(1～2 月)
クラスの平均人数	約 15 名
クラスの日本人数	約 7 名(1 月～2 月は 1 名)
クラスメイトの国籍	韓国、台湾、中国、タイ、サウジアラビア など
受講したコース	Academic English(level 60)、Effective English(academic)、Business English
クラスレベルの変化	開始時:日常会話ができる程度のレベル → 最終:アカデミックな英語を話せるレベル

■ 授業の内容

授業では、主にパワーポイントのスライドを教材として使いました。現地の授業は発言しやすく、フレンドリーな環境で、日本の授業との違いを感じました。担当の先生は優しく、真摯に向き合ってくれましたし、学校のスタッフも丁寧な対応をしてくれました。

面白かった授業は Effective English です。英語を話す機会が多く、アクティビティもたくさんあったからです。授業には楽しいアクティビティがあり、クラスの雰囲気良く、コミュニケーション能力も上がりました。

■ がんばったこと

頑張った授業は Academic English で、レポートや課題に力を入れて取り組みました。一方で、最も苦労したのも同じ Academic English でした。レポートや課題が多く、また一番初めに受講したクラスだったためです。

キャンパスの設備は綺麗に整っており、雰囲気も明るかったです。費用はかかりますが、大学のジムがおすすめです、たくさんの人とスポーツなどをして交流できます。9月～12月、2月～3月は日本人の学生が多いので、日本人が1人になりたくない人にはおすすめの学校です。

3. 語学力の伸びと工夫

スキルごとに苦労した点と、自分なりに工夫した点をまとめます。

スキル	苦労した点	工夫した点
リスニング	ネイティブの速い英語が聞き取りにくい。	とにかくネイティブと話すこと。
スピーキング	たまに英語が伝わらなかった。	他の言葉に言い換えることで、伝えることができた。
リーディング	語彙力。	単語を勉強した。
ライティング	語彙力。	単語を勉強した。

勉強に役立った方法は、ネイティブだけでなく、とにかく誰かと英語を喋ることです。留学開始当初と比べると、かなり喋れるようになったと感じます。思ったことを伝えることができるようになりました。



4. 滞在先と生活

■ 滞在先と食事

滞在先はホームステイで、1 人部屋でした。通学時間は約 60 分、通学費は 1 か月あたり約 13,000 円でした。共有のバスルームがあり、タオルやシャンプーは用意されていました。

ホストファミリーとは話す機会が多かったです。ルールは特になく、好きなものを使っても食べても良いと言われていました。夕飯はホストファミリーが用意してくれたものを 1 人で食べていて、インド料理が多かったです。栄養はしっかり取れていると感じました。また、たまに外食もしていました。

■ 1 週間の過ごし方

月曜日から金曜日は、8:30～12:30 に授業を受け、お昼は友達とランチをして、その後は帰宅するか友達と遊んでいました。土日は友達と遊ぶことが多かったです。一番の息抜きも、友達と遊ぶことでした。日本の家族や友達とは、週に 2～3 回ほど連絡を取っていました。

■ 街と治安

大学のある街には商業施設やレストランが多く見られました。キャンパス内外の治安は良かったです。

トロントは思っていたより安全な街でした。

■ 交友関係

友達を作るために、積極的に話しかけに行きました。中国や韓国の方は、他の国の人と比べて友達になりやすかったです。留学生活で最も良い思い出は、友達がたくさんできたことです。一方で大変だったのは、初めの 1 か月の友達作りでした。

現地学生や留学生とは、大学のコミュニティを自分で調べて参加したり、大学のジムでスポーツをしたりして交流しました。トロント大学のジムでバレーボールをしたことはとても大きく、たくさんの現地学生と友達ができ、遊びに誘ってくれる友達もたくさんできました。

5. 費用と持ち物

項目	内容
生活費(月のお小遣い)	約 10 万円/月
通学費	約 13,000 円/月

■ 持ち物について

- 日本から持ってこなくても良かった物:食料。ホストファミリーからの食事があり、現地でも日本食は買えるためです。
- 現地に持って行って便利だった物:化粧品。
- 渡航前に準備しておけば良かった点:洗濯は基本的に週 1 回なので、1 週間分以上の下着・靴下を持って行けば良かったです。

6. 留学を終えて

留学を通して、英語はもちろん、人と話すことにためらいを感じなくなりました。これからは TOEIC を受ける予定です。また、英語を活用して、学校のゼミ活動や授業を頑張りたいと思っています。

語学学校はやはり日本人が多いので、英語が上手になる人には差があると感じました。日本人としか一緒にいないと、留学をしている意味が薄れてしまうと感じたため、日本人以外の友達を作ることが一番重要だと思います。また、現地の日本人学生と友達になれたこともとても良かったです。彼らは英語が話せて現地での友達も多いため、仲良くなることで彼らのコミュニティに参加でき、一緒に遊んでいてわからない英語があれば教えてもらえるので、英語も上手になります。私の語学学校はトロント大学の語学学校なので、トロント大学の日本人学生のコミュニティに参加することができました。

机に向かって勉強することはあまりありませんでしたが、友達と遊ぶだけでも英語の勉強になり、そのおかげで英語が話せるようになりました。日本に帰りたと思う時もありましたが、最後には逆に、トロントでできた友達と離れることが寂しいと感じました。

JSAF がいろいろな人の留学の体験を紹介してくれたので、留学での過ごし方の参考になりました。

7. 後輩へのメッセージ

「日本人が多いので、学校外でコミュニティを作らないと、留学の意味がなくなってしまうです。自分も学校外での友達を作る前は、日本人としかいなかったなので英語力は伸びなかったです。」

本体験記は、JSAF 派遣生による FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。